



石見智翠館高等学校
人権・同和教育部

IWAMI CHISUIKAN HIGH SCHOOL IWAMI CHISUIKAN HIGH SCHOOL IWAMI

3年2学期人権・同和教育特別授業 就職差別・結婚差別と身元調査

1998年、探偵社や興信所が就職時の身元調査を行なっていることが発覚し、部落解放同盟が糾弾闘争を繰り広げた事件がある。(株)日本アイビーと、その子会社であるリック(株)が多くの企業(1400社近く)から、採用調査(採用対象者が被差別部落出身者であるかどうかの調査)を行なっていたことが内部告発で明らかになった。就職に関する部落差別身元調査糾弾史上、最大で最悪の事件であった。またこれに先立って、1975年にその存在が明らかになった、いわゆる『部落地名総鑑』事件がある。『部落地名総鑑』とは、全国の被差別部落の住所などが一覧のかたちで記された差別図書のこと、東京・大阪の大企業を含む数百社の人事担当者が、五万円以上もするこの本をひそかに購入していたことが発覚し、経済界をゆるがす大糾弾闘争となった。いずれも結婚や就職に際しての身元調査(戸籍謄本等の不正取得)の巨大な裏ネットワークが存在し、マーケットとして成り立っていることを明らかにしている。部落解放同盟を中心に国をあげて差別解消への取り組みを続けているが、根強く残っているのが現状である。



事前の教員検討会の様子

アンケートの結果です

アンケート項目		選択肢	智組	1組	2組	3組	4組	5組	合計
Q1	同和問題について、今までに見たり聞いたり学んだりして、知識を持っている	とても該当する	4 30.8%	2 7.1%	1 3.3%	2 6.1%	2 5.6%	2 5.7%	13 7.9%
		やや該当する	6 46.2%	13 46.4%	3 10.0%	8 24.2%	6 16.7%	4 11.4%	40 24.2%
		あまり該当しない	3 23.1%	10 35.7%	1 3.3%	5 15.2%	10 27.8%	9 25.7%	38 23.0%
		全く該当しない	0 0.0%	1 3.6%	1 3.3%	3 9.1%	1 2.8%	3 8.6%	9 5.5%
		よくわからない	0 0.0%	2 7.1%	24 80.0%	15 45.5%	17 47.2%	17 48.6%	75 45.5%
	回答数	13 100%	28 100%	30 100%	33 100%	36 100%	35 100%	175 100%	
Q2	国は同和問題に対して様々な環境を整えて格差是正の取り組みをしてきたので、現在では格差は解消されたと思う	強く思う	0 0.0%	4 14.3%	2 6.7%	2 6.1%	2 5.6%	2 5.7%	12 7.3%
		やや思う	4 30.8%	5 17.9%	4 13.3%	7 21.2%	9 25.0%	14 40.0%	43 26.1%
		あまり思わない	5 38.5%	6 21.4%	2 6.7%	4 12.1%	6 16.7%	4 11.4%	27 16.4%
		全く思わない	2 15.4%	2 7.1%	0 0.0%	3 9.1%	1 2.8%	3 8.6%	11 6.7%
		よくわからない	2 15.4%	11 39.3%	22 73.3%	17 51.5%	18 50.0%	12 34.3%	82 49.7%
	回答数	13 100%	28 100%	30 100%	33 100%	36 100%	35 100%	175 100%	
Q3	いじめや差別など、人を傷つけるような行為は社会的に許されるものではなく、学校教育や啓発活動を通じて解消されたと思う	強く思う	1 7.7%	2 7.1%	2 6.7%	3 9.1%	2 5.6%	1 2.9%	11 6.7%
		やや思う	1 7.7%	5 17.9%	2 6.7%	3 9.1%	11 30.6%	8 22.9%	30 18.2%
		あまり思わない	7 53.8%	13 46.4%	0 0.0%	9 27.3%	8 22.2%	16 45.7%	53 32.1%
		全く思わない	4 30.8%	3 10.7%	0 0.0%	3 9.1%	4 11.1%	2 5.7%	16 9.7%
		よくわからない	0 0.0%	5 17.9%	26 86.7%	15 45.5%	11 30.6%	8 22.9%	65 39.4%
	回答数	13 100%	28 100%	30 100%	33 100%	36 100%	35 100%	175 100%	
Q4	今日では、結婚や就職において差別されることはないと思う	強く思う	0 0.0%	8 28.6%	1 3.3%	5 15.2%	5 13.9%	5 14.3%	24 14.5%
		やや思う	4 30.8%	7 25.0%	3 10.0%	8 24.2%	7 19.4%	9 25.7%	38 23.0%
		あまり思わない	6 46.2%	8 28.6%	2 6.7%	3 9.1%	7 19.4%	6 17.1%	32 19.4%
		全く思わない	3 23.1%	0 0.0%	1 3.3%	1 3.0%	3 8.3%	1 2.9%	9 5.5%
		よくわからない	0 0.0%	5 17.9%	23 76.7%	16 48.5%	14 38.9%	14 40.0%	72 43.6%
	回答数	13 100%	28 100%	30 100%	33 100%	36 100%	35 100%	175 100%	
Q5	自分が結婚するときに、親が差別的な考えで反対したら、親の誤りを正し、説得する	強く思う	9 69.2%	21 75.0%	2 6.7%	10 30.3%	13 36.1%	16 45.7%	71 43.0%
		やや思う	4 30.8%	4 14.3%	3 10.0%	6 18.2%	9 25.0%	8 22.9%	34 20.6%
		あまり思わない	0 0.0%	1 3.6%	1 3.3%	2 6.1%	3 8.3%	2 5.7%	9 5.5%
		全く思わない	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	1 3.0%	1 2.8%	2 5.7%	5 3.0%
		よくわからない	0 0.0%	2 7.1%	23 76.7%	14 42.4%	10 27.8%	7 20.0%	56 33.9%
	回答数	13 100%	28 100%	30 100%	33 100%	36 100%	35 100%	175 100%	
Q6	将来自分の子供が同和地区出身の人を好きになり、結婚したいと言ったら、親として賛成する	強く思う	7 53.8%	16 57.1%	3 10.0%	8 24.2%	6 16.7%	11 31.4%	51 30.9%
		やや思う	5 38.5%	4 14.3%	0 0.0%	6 18.2%	10 27.8%	7 20.0%	32 19.4%
		あまり思わない	0 0.0%	2 7.1%	1 3.3%	2 6.1%	4 11.1%	3 8.6%	12 7.3%
		全く思わない	0 0.0%	1 3.6%	1 3.3%	1 3.0%	0 0.0%	1 2.9%	4 2.4%
		よくわからない	1 7.7%	5 17.9%	25 83.3%	16 48.5%	16 44.4%	13 37.1%	76 46.1%
	回答数	13 100%	28 100%	30 100%	33 100%	36 100%	35 100%	175 100%	
Q7	同和問題や差別の実態について学ぶことは、自分の人生にとって大いにプラスになる	強く思う	8 61.5%	17 60.7%	2 6.7%	7 21.2%	6 16.7%	9 25.7%	49 29.7%
		やや思う	5 38.5%	7 25.0%	3 10.0%	12 36.4%	12 33.3%	11 31.4%	50 30.3%
		あまり思わない	0 0.0%	2 7.1%	0 0.0%	2 6.1%	3 8.3%	3 8.6%	10 6.1%
		全く思わない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	1 2.9%	2 1.2%
		よくわからない	0 0.0%	2 7.1%	25 83.3%	11 33.3%	15 41.7%	11 31.4%	64 38.8%
	回答数	13 100%	28 100%	30 100%	33 100%	36 100%	35 100%	175 100%	

研修から学んだこと・感想・・・

3年生を対象にした今回の人権・同和教育特別授業は、「身元調査」に焦点を当て、行政書士・司法書士・弁護士・社会保険労務士・土地家屋調査士などが職務上の特権を利用して第三者の戸籍抄本を不正に取得し、依頼者に渡していた実態を学びました。2005年の事例では、大阪・兵庫で、1件3000円程度の報酬で、全国から不正に取得した戸籍抄本を興信所に渡していましたが、いまだに就職や結婚において身元調査を行って差別する人たちが存在するという事です。各クラスで資料を基に話し、その後にアンケートを実施してみました。生徒たちは今までにしっかりとこの問題を学んできたことがうかがえ、格差是正の取り組みの一定の成果を理解し、結婚や就職において、親が間違っていればそれを正し、自分の子供の結婚や就職においても正しく判断しようとする意欲を感じました。しかしながら、いじめや人を傷つける行為が世の中で後を絶たない現実にも目を向けて、それを危惧している様子が見えたり、また「よくわからない」という回答が半数近くあることも気になります。3年生の皆さんが社会に出て大人として生きていくにあたり、差別を見抜き、それを許さない純粋さとエネルギーを自らの行動につなげていってほしいと思います。